

再生資源利用促進計画書(実施書) - 建設副産物搬出工事用 -

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

2. 建設副産物搬出計画(実施) 現場内利用の欄には、発生量のうち、現場内で利用したものについて御記入ください。

コード*14(コード*13で「7.内陸処分場」を選択した場合のみ記入)
 1.山砂利等採取跡地 2.処分場の覆土 3.池沼等の水面理立 4.谷地理立 5.農地受入 6.その他

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用 促進率 (3)+(4)+(6) (2) (%)		
		現場内利用		減量化		搬出先名称		区分 どちらかに○を つけて下さい	施工条件の 内容 コード*12	搬出先場所			搬出先 の種類 コード *13	受入地 の用途 コード *14	⑤現場外搬出量		うち現場内 改良分	⑥再生資源 利用促進量 (注2)
		③利用量	うち現場内 改良分	減量法 コード *11	④減量化量	3ヶ所まで記入 できます。4ヶ所以上 にわたる時は、 用紙を換えて下さい。	住所コード *4			運搬距離 千 百 十 一	km	トン						
特定建設資材廃棄物	コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1	公共 民間								トン	トン	トン	%
	建設発生木材 (木材が廃棄物 になったもの)	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間								トン	トン	トン	%
	アスファルト・ コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1	公共 民間								トン	トン	トン	%
建設廃棄物	建設発生木材 (伐木材、除根 材など)	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間								トン	トン	トン	%
	建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間								トン	トン	トン	%
	建設混合廃棄物		トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間							トン	トン	トン	%
							搬出先2	公共 民間							トン	トン	トン	%
	金属くず		トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間							トン	トン	トン	%
							搬出先2	公共 民間							トン	トン	トン	%
	廃プラスチック		トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間							トン	トン	トン	%
							搬出先2	公共 民間							トン	トン	トン	%
	紙くず		トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間							トン	トン	トン	%
							搬出先2	公共 民間							トン	トン	トン	%
アスベスト (飛散性)		トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間							トン	トン	トン	%	
						搬出先2	公共 民間							トン	トン	トン	%	
その他の分別さ れた廃棄物		トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間							トン	トン	トン	%	
						搬出先2	公共 民間							トン	トン	トン	%	
建設発生土	第一種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	第二種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	第三種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	第四種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	浚渫土		地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共 民間							地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
							搬出先2	公共 民間							地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	合計		地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³								地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他(具体的に記入)

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他(具体的に記入)

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13(詳細は「表-4」参照のこと)
再生資源利用促進
(再生利用された場合)
1.他の工事現場(内陸:公共、民間を含む)
2.再資源化施設(土質改良プラントを含む)
3.有償売却(工事請負会社が建設副産物を売却し、
代金を得た場合)
4.建設発生土ストックヤード(再利用工事が決まっている
場合)
5.海面埋立事業(海岸、海浜事業含む)

最終処分場・その他
(処分された場合)
6.最終処分場(海面処分場)
7.最終処分場(内陸処分場)
8.建設発生土ストックヤード(再利用工事未定)
9.焼却施設・最終処分場へ持ち込むための中間
処理施設
10.その他(具体的に記入)

注2:再生資源利用促進量について
現場外搬出量④のうち、搬出先の種類
(コード*13)が1.~5.の合計